

# 平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：先端産業課

担当名：推進担当

内線：3776

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B21	先端産業創造推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	
						分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業の概要 今後大きな成長が見込まれる先端産業を振興するため企業・大学・研究機関等の人材・技術・情報を本県に集結し、あわせて企業等の事業化を支援することにより、産業活性化、雇用創出及び税収増加に結びつける。 (1) 先端産業研究サロン等運営事業 △5,677千円 事務経費の節減や契約差金発生のための減 (2) 成果のPR、見える化事業 △3,477千円 動画制作本数見込みの減や、事務経費の節減のための減				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 先端産業研究サロン等運営事業 22,348千円 先端産業研究サロンの運営(2回) 先端産業創造プロジェクトのホームページ管理 イ 先端産業支援センター運営事業 2,400千円 先端産業に取り組む事業者を支援するサポートセンターを設置(新都心ビジネス交流プラザ) ウ 成果のPR、見える化事業 5,808千円 プロジェクトにより開発された製品・技術を発信 エ 先端要素技術の事業化支援事業 50,150千円 新技術の応用による製品開発・事業化を支援 オ 先端技術等標準化支援事業 0千円 プロジェクトにより開発された製品・技術の標準化を支援 (2) 事業計画 平成26年度～ 先端産業研究サロンの開催 平成27年度～ 産学官交流会、先端産業支援センター設置・運営、先端技術・製品開発補助による支援 平成28年度～ 先端産業研究サロンの開催、産学官交流会、先端産業支援センター運営、企業PR 平成29年度～ 先端産業研究サロンの開催、産学官交流会、先端産業支援センター運営、成果PR 平成30年度～ 先端産業研究サロンの開催、先端産業支援センター運営、成果PR (3) 事業効果 外部専門家の知見を取り込みながら、先端技術・製品の開発から事業化まで徹底した支援を行うことにより産業活性化、雇用創出、税収増加に寄与する。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 大学・研究機関、(公財)埼玉県産業振興公社、シンクタンク、動画制作企業その他の民間企業等と連携して実施する。 (5) 補正予算の概要 ア 先端産業研究サロン等運営事業：事務経費の節減により生じた減額、契約差金発生に伴う減額等 イ 成果のPR、見える化事業：動画の制作見込み本数の減(△12本)及び、事務経費の節減により生じた減額				
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円								
				財 源 内 訳				
予算額		繰入金	諸収入				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△9,154	△8,662	△492				0	71,552
現計額	80,706	79,997	709				0	